

【令和7年度に取り組んだ主な事業】

水都大垣の再生

水都大垣再生プロジェクト推進事業 4,941万円

「水都大垣」を感じられるよう、まちなかの公共空間をリニューアルするとともに、水辺を生かした各種イベントなどを展開しました。

- ・清水町緑地整備事業
(東屋整備、説明看板設置ほか)
- ・水都大垣まちなか回遊促進事業
(デジタルサイネージ整備ほか) ほか



子どもの居場所づくり

大垣市児童館運営事業 1,106万円

子育て支援の拠点施設である南部子育て支援センターの機能を拡充し、18歳未満の児童を対象とした「拠点的な子どもの居場所」として、大垣市児童館を新たに開設しました。



南こども園建設事業 5,434万円

老朽化が著しい南保育園を移転改築し、幼保連携型認定こども園として整備するため、用地購入のほか、建設工事などの一部を実施しました。

小学校屋内運動場空調機整備事業 7億2,110万円

児童の熱中症予防や災害時における避難所としての機能向上を図るため、小学校屋内運動場（10校）に空調機を設置しました。

まちの拠点づくり

北公園等再整備事業 1億6,601万円

「北公園等再整備方針」に基づき、用地取得に向けた調査のほか、老朽化した北公園野球場・陸上競技場や青年の家などの延命化工事などを行いました。

大垣西インターチェンジ 周辺道の駅等推進事業 3,148万円

「大垣西インターチェンジ周辺土地利用構想」を踏まえ、「道の駅」整備や周辺土地利用に関する基本方針案を作成したほか、「道の駅」の段階的整備に向けた現況測量を実施しました。

東地区センター改築事業 6億4,586万円

老朽化に伴う東地区センターの移転改築工事を実施しました。
(令和8年1月完成、同年4月供用開始)



市民病院ドクターカー整備事業 732万円

重症患者の救命率向上を図るため、医師や看護師などを載せて救急現場へ出動するドクターカーを購入しました。



【基金の状況】

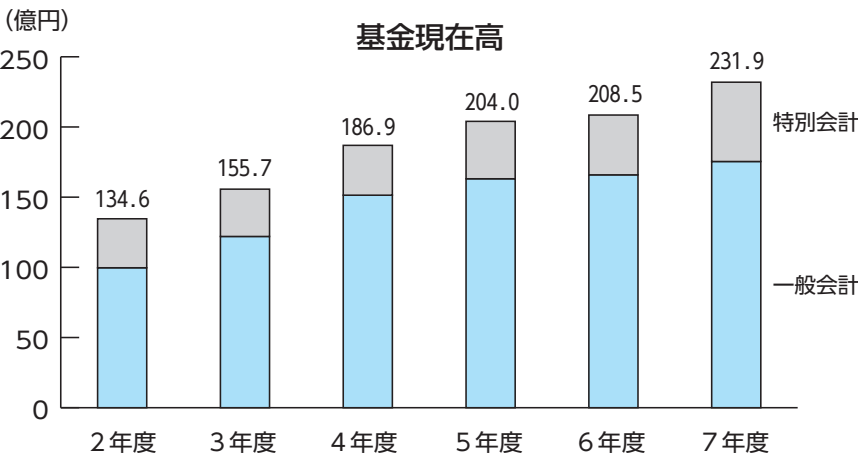
市民1人あたりは、令和8年3月31日現在の住民基本台帳人口155,686人で算出しています

自治体の「貯金」にあたる基金の現在高は、一般会計と特別会計を合わせて231億9,122万円で、前年度より23億4,525万円の増となりました。

<主な基金残高>

- ・財政調整基金 100億1,980万円
- ・減債基金 22億6,250万円
- ・公共施設整備基金 27億4,735万円
- ・養老線支援基金 10億359万円
- ・競輪事業施設等整備基金 38億500万円

市民1人当たり基金残高 14万8,961円
(前年度より15,750円の増)



【市債の状況】

市民1人あたりは、令和8年3月31日現在の住民基本台帳人口155,686人で算出しています

自治体の「借金」にあたる市債の現在高は、一般会計、特別会計、企業会計を合わせて937億3,715万円で、元金償還が進んだことなどにより、前年度より17億8,346万円の減となりました。

<7年度一般会計公債費(借入金返済)>

56億443万円 (前年度比+1億6,581万円)

<7年度一般会計の主な借入事業>

- ・東地区センター改築 4億4,480万円
- ・道路整備 6億7,430万円
- ・排水施設等整備 3億6,020万円
- ・公園・緑地等整備 2億1,830万円
- ・学校教育施設整備 13億7,550万円

市民1人当たり市債残高 60万2,091円
(前年度より8,311円の減)

